

NPO法人ピースデポ主催

2025年度 脱軍備・平和基礎講座

後援：核兵器をなくす日本キャンペーン

被爆80年—過去を学び廃絶を展望する

5月25日～
12月20日
14:00～16:00

月1回ずつ全8回実施（詳細は裏面へ）
どなたでも参加できる市民講座です

お申し込み方法

右のQRコードまたは
下記URLのフォームに
必要事項を記入のうえ
お申込みください



[https://docs.google.com/forms/d/
e/1FAIpQLSf0vbWpIijb_5tQ1TQAV0vdqJ5VxERR0UclGu0o2imZbodPPw/
viewform?usp=sharing](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf0vbWpIijb_5tQ1TQAV0vdqJ5VxERR0UclGu0o2imZbodPPw/viewform?usp=sharing)

形式

オンライン（Zoom配信）

※見逃し配信あり

※ハイブリッド（オンライン／対面併用）で
実施する場合は、別途ご案内を差し上げます。

資料代

4,000円（全8回分）
学生・大学院生無料

8回通しの参加が原則ですが
個別の参加も可能です。

※個別参加の場合、参加費は
1回1,000円となります

お問い合わせ

2025年度脱軍備・平和基礎講座：被爆80年—過去を学び廃絶を展望する



第1回 5/25(日) 鈴木達治郎「世界の核兵器の現状は？」

核兵器とは何か、なぜ存在し続けるのか、世界の核弾頭の分布、核兵器近代化の現状など、核兵器に関する基礎的なことを学びます。

第2回 6/28(土) 中村桂子「NPTと核兵器禁止条約」

核廃絶を求める2つの条約、核不拡散条約（NPT）と核兵器禁止条約（TPNW）について、その成立の歴史やそれぞれの役割などを学びます。



第3回 7/26(土) 梅林宏道「脱・核の傘—北東アジア非核兵器地帯」

日本が核兵器禁止条約に参加するには「核の傘」から脱することが必要です。世界の非核兵器地帯の歴史を学び、北東アジアでの可能性を考えます。



第4回 8/23(土) 田中熙巳、倉本芽美「改めて、被爆者は訴える」

田中さんから自身の被爆体験、被団協の活動、主張などを話していただいた後、それを踏まえて、倉本さんが若者の視点から対話を試みます。



第5回 9/27(土) 市田真理「世界のヒバクシャ」

核実験やウラン鉱山における被ばくなど、世界各地に広がる被ばくの実相について基礎的なことを学びます。



第6回 10/25(土) 徳田悠希「ジェンダーと核廃絶」

根の深い核兵器廃絶の問題をジェンダーの視点で考えることがなぜ必要なのか、それによって何が生み出されるのかを学び、考えます。



第7回 11/23(日) 高橋博子「マーシャル核実験を問う—植民地主義と核兵器」

米国のマーシャル諸島における核実験は強者が一方的に弱者の生存基盤を奪い破壊した行為です。背後にある植民地主義と核兵器の問題を考えます。



第8回 12/20(土) 河合公明「核抑止論を乗り越える—国際法の視点から」

核抑止政策の理論的支柱は、核抑止論です。核兵器のない世界に向け、核抑止論をどう乗り越えるか。国際法の視点を学び、市民運動にどう役立てるかを考えます。

